

第30回全国大学弓道選抜大会 選手監督必携

平成30年5月7日版

第30回全国大学弓道選抜大会が、実施要項のとおり開催される運びとなりました。本必携には、日程や注意事項等の重要事項が記載されております。大会当日までにご熟読頂き、応援者や関係者の皆様にも周知をお願いいたします。

併せて、大会期間中は大学内のどなたかが本必携を常に携帯するようお願いいたします。

また、本大会は全日本弓道連盟の弓道競技規則により運営されますので、全日本弓道連盟のホームページ【<http://www.kyudo.jp/>】にて弓道競技規則のご確認を必ずお願いいたします。

なお、大会開催に当たり、監督会議、主将会議は開催いたしません。

<目次>

実施要項	1・2頁
参加申込方法	3頁
大会スケジュール	4頁
受付について	5頁
選手の変更及び交代について	5頁
監督の代行について	5頁
予選立順（立組）の告知について	6頁
式典について	6頁
競技について	7・8頁
会場使用について	8頁
その他	8頁
入館について	9頁
会場案内	9・10頁
取矢・坐射他免除申請書	11頁
予選出場選手変更届 決勝トーナメント出場選手交代届 監督代行届	12～14頁

■お問合せ先

第30回全国大学弓道選抜大会実行委員会 担当：田口

メール：taikaikanri@kyudo.jp

公益財団法人全日本弓道連盟事務局 全国大学弓道選抜大会係

TEL：03-3481-2387（月～金：9時～17時）

本資料はA4片面カラー印刷が望ましい

1. 実施要項

1. 目的 大学弓道の育成を主眼とし、弓道競技実践の機会を与え、技能の向上を図ると共に相互の親睦を図る。
2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
3. 共催 全日本学生弓道連盟
4. 後援（申請予定） スポーツ庁・明治神宮・一般財団法人明治神宮崇敬会・公益財団法人日本武道館
5. 主管 第30回全国大学弓道選抜大会実行委員会
6. 期日 平成30年6月23日（土）・24日（日）
公式練習として弓道場の開放はない。
7. 会場 全日本弓道連盟中央道場／明治神宮武道場至誠館弓道場
〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1
TEL：03-5302-5865
8. 競技種目 近的競技
9. 競技種類 団体競技
10. 競技種別 男子の部・女子の部
11. 競技内容 的中制（坐射・直径36cm霰的）
12. 競技日程

6月23日	13:00～	開会式
	開会式終了後	矢渡
	14:00～	予選
	予選終了後	決勝トーナメント抽選会
6月24日	9:00～	決勝トーナメント
	競技終了後	閉会式
13. 競技方法
 - (1) チーム編成
 - ①競技は、男子の部は5人立、女子の部は3人立で行う。
 - ②チームの登録は、男子の部は監督1名、男子選手7名以内。
女子の部は監督1名、女子選手4名以内とし、
選手の立順（行射の順番）は参加申込時の登録順とする。
 - ③チームの選手登録において男女の混成は認めない。
 - (2) 予選
 - ①両種別とも各自4射1回にて的中数の上位16チームを決勝トーナメント進出とする。
 - ②決勝トーナメント進出の為の同中競射は、両種別とも各自1射にて、総的中数の多いチームを上位とする。
なお、1回の同中競射で順位が決らない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
 - (3) 決勝トーナメント
 - ①両種別とも各自4射1回のトーナメント法で行う。
 - ②同中の場合は、両種別とも、各自1射にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。
なお、1回の同中競射で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
 - (4) 制限時間については、「選手監督必携」に記載する。
 - (5) 選手の変更及び交代については、「選手監督必携」に記載する。
14. 表彰
 - (1) 優勝大学に本連盟より優勝旗（持ち回り）、賞状及びメダルを授与する。
 - (2) 2位及び3位の大学に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
 - (3) 射道優秀大学を選考し、本連盟よりカップ（持ち回り）及び賞状を授与する。
 - (4) 優勝～3位の大学に全日本学生弓道連盟より賞状を授与する。
 - (5) 優勝大学に公益財団法人日本武道館よりカップ及び賞状を授与する。

15. 参加資格 下表に基づき、男子の部、女子の部ともに、各地区学生弓道連盟から選抜され、所属する都道府県弓道連盟の認証を受けた大学（選手）。

前年度優勝	前年度射道優秀	北海道	東北	関東	東京	北信越	東海	関西	中四国	九州	計
1	1	2	2	4	10	2	4	9	4	3	42

16. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに本実施要項による。
17. 参加料 無料
18. 参加申込 (1) 方法：本連盟ホームページからダウンロードした所定の参加申込書に必要事項を入力後、所属する都道府県弓道連盟へ電子メールにて申請すること。
都道府県弓道連盟は申請者の資格等確認の上、締切日までに参加申込書を下記宛に電子メールで申込むこと。
(2) 注意点：参加大学は申込みに際し、都道府県弓道連盟の締切日に十分注意すること。
参加大学から本連盟に直接申込みをすることはできない。
必ず都道府県弓道連盟が取り纏めて申込むこと。
(3) 申込先：第30回全国大学弓道選抜大会実行委員会 taikaikanri@kyudo.jp
19. 締切日 都道府県弓道連盟締切日 平成30年5月18日（金）厳守
本連盟締切日 平成30年5月23日（水）厳守
20. 宿泊 各自で手配すること。
但し、「パールホテル茅場町」及び「パールホテル両国」を希望する場合は、本連盟ホームページへ関係書類を掲載するので、直接予約を行うこと。
21. 注意事項 (1) 後日、本連盟ホームページへ「選手監督必携」を掲載するので、必ず確認すること。
(2) 競技の服装は、弓道衣（筒袖・袴・白足袋）とする。
(3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
(4) 開会式には原則として全員参加すること。
(5) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
(6) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
(7) 参加者は健康保険証を持参のこと。
22. 映像の取り扱いについて 個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。
権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。
23. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。
ただし、下記(2)の月刊『弓道』・本連盟ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。
(1) 大会プログラムならびに関係書類への記載（氏名、所属大学、段級位）
(2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載（氏名所属大学、段級位、写真）
(3) 次回大会以降の大会プログラムへの写真の掲載。
(4) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。
関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。

2. 参加申込方法

- (1) 本必携掲載の実施要項及び下記にて確認すること。
- (2) 各大学から各都道府県弓道連盟への申込締切日は、平成30年5月18日(金) 必ず厳守のこと。
各大学から本連盟に直接申込みをすることはできない。
- (3) 各都道府県弓道連盟から本連盟への申込締切日は、平成30年5月23日(水) 必ず厳守のこと。
- (4) 事情により取矢・坐射他の免除を希望する場合は、参加申込書の備考欄へ「取矢免除希望」又は「立射希望」と入力し申請すると共に、本必携掲載の申請書に必要事項を記入の上、診断書(写し可)を添え、平成30年6月15日(金)までに、本連盟宛に郵送すること。6月15日以降に、不測の事態が発生した場合は、本連盟宛に連絡をすること。大会期間中に発生した場合は受付まで申し出ること。

参加申込書(エクセルファイル)の流れ

①全日本弓道連盟

(本連盟ホームページへ参加申込書を掲載)



②参加大学

(ホームページより参加申込書をダウンロード・必要事項の入力)

(都道府県弓道連盟へメールにて参加申込申請)

メールの件名は「第30回全国大学弓道選抜大会 参加申込申請 ○○大学」とする。

メールの本文には、大学名、送信者氏名及び送信者携帯電話番号を必ず入力すること。



③都道府県弓道連盟

(参加資格等確認後、団体名及び会長名を入力し、大会実行委員会へメールにて申請)



④大会実行委員会

(参加申込受付完了)

参加申込書申請先(都道府県弓道連盟)一覧

北海道弓道連盟	hokkaido-rengo@kyudo.jp	長野県弓道連盟	naganoken@kyudo.jp	岡山県弓道連盟	okayamaken@kyudo.jp
青森県弓道連盟	aomoriken@kyudo.jp	富山県弓道連盟	toyamaken@kyudo.jp	広島県弓道連盟	hiroshimaken@kyudo.jp
岩手県弓道連盟	iwateken@kyudo.jp	石川県弓道連盟	ishikawaken@kyudo.jp	山口県弓道連盟	yamaguchiken@kyudo.jp
宮城県弓道連盟	miyagiken@kyudo.jp	福井県弓道連盟	fukuiken@kyudo.jp	香川県弓道連盟	kagawaken@kyudo.jp
秋田県弓道連盟	akitaken@kyudo.jp	静岡県弓道連盟	shizuokaken@kyudo.jp	徳島県弓道連盟	tokushimaken@kyudo.jp
山形県弓道連盟	yamagataken@kyudo.jp	(一社)愛知県弓道連盟	aichiken@kyudo.jp	高知県弓道連盟	kochiken@kyudo.jp
福島県弓道連盟	fukushimaken@kyudo.jp	岐阜県弓道連盟	gifuken@kyudo.jp	愛媛県弓道連盟	ehimeken@kyudo.jp
茨城県弓道連盟	ibarakiken@kyudo.jp	三重県弓道連盟	mieken@kyudo.jp	福岡県弓道連盟	fukuokaken@kyudo.jp
栃木県弓道連盟	tochigiken@kyudo.jp	滋賀県弓道連盟	shigaken@kyudo.jp	佐賀県弓道連盟	sagaken@kyudo.jp
群馬県弓道連盟	gunmaken02@kyudo.jp	京都府弓道連盟	kyotofu@kyudo.jp	長崎県弓道連盟	nagasaki@kyudo.jp
埼玉県弓道連盟	saitamaken@kyudo.jp	大阪府弓道連盟	osakafu@kyudo.jp	熊本県弓道連盟	kumamotoken@kyudo.jp
千葉県弓道連盟	chibaken@kyudo.jp	兵庫県弓道連盟	hyogoken@kyudo.jp	大分県弓道連盟	oitaken@kyudo.jp
東京都弓道連盟	tokyo-toren@kyudo.jp	奈良県弓道連盟	naraken@kyudo.jp	宮崎県弓道連盟	miyazakiken@kyudo.jp
神奈川県弓道連盟	kanagawaken@kyudo.jp	和歌山県弓道連盟	wakayamaken@kyudo.jp	鹿児島県弓道連盟	kagoshimaken@kyudo.jp
山梨県弓道連盟	yamanashiken@kyudo.jp	鳥取県弓道連盟	tottoriken@kyudo.jp	(一社)沖縄県弓道連盟	okinawaken@kyudo.jp
新潟県弓道連盟	niigataken@kyudo.jp	島根県弓道連盟	shimaneken@kyudo.jp		

3. 大会スケジュール

6月23日（土）大会1日目

予定開始時刻	中央道場	至誠館弓道場
10:15	観覧席開放	
10:30	中央道場玄関開錠 受付（10:30～12:30）	<u>至誠館弓道場からの入館は禁止する。</u> <u>必ず中央道場から入退館すること。</u>
11:00	審判会議	
13:00	開会式（射場）	
開会式終了後	矢渡	
13:45	女子の部 招集開始	女子の部 招集開始
14:00	女子の部 予選 7立（1番～21番）	女子の部 予選 7立（22番～42番）
15:00	男子の部 予選10立（1番～20番）	男子の部 予選11立（21番～42番）
予選終了後	女子の部 決勝進出の為の同中競射	
	男子の部 決勝進出の為の同中競射	
	女子の部 決勝トーナメント組合せ抽選会	
	男子の部 決勝トーナメント組合せ抽選会	

6月24日（日）大会2日目

予定開始時刻	中央道場
8:00	中央道場玄関開錠
8:10	観覧席開放
8:45	女子の部 招集開始
9:00	女子の部 決勝トーナメント1回戦 8立
	男子の部 決勝トーナメント1回戦 8立
	昼食休憩
12:45	女子の部 招集開始
13:00	女子の部 決勝トーナメント2回戦 4立
	男子の部 決勝トーナメント2回戦 4立
	女子の部 決勝トーナメント準決勝・3位決定戦・決勝戦 4立
	男子の部 決勝トーナメント準決勝・3位決定戦・決勝戦 4立
16:30	閉会式（17:00終了予定）

※ 上記時間帯は進行状況により開始時刻が前後するので注意すること。

※ 招集状況に係らず第3控の招集に応じない場合は、棄権したものとみなす。

※ 第3控以降への入場は、男子の部は、選手5名・監督1名（又は補欠選手1名）。
女子の部は、選手3名・監督1名（又は補欠選手1名）とする。

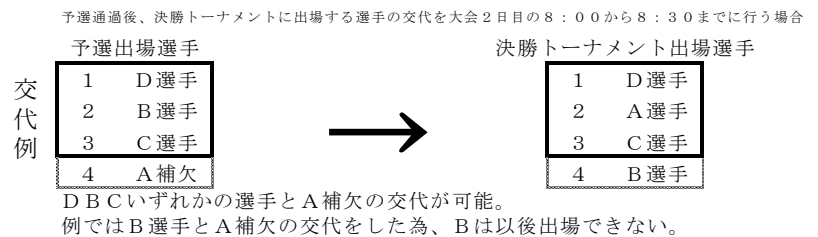
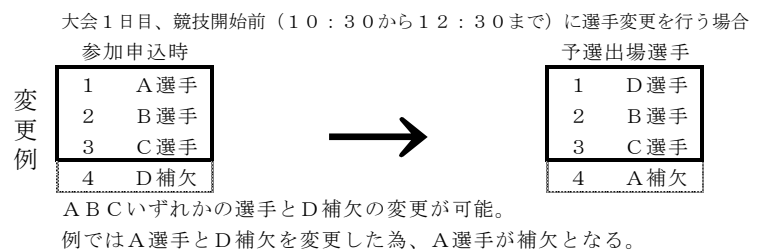
4. 受付について

- (1) 23日(土) 10:30~12:30の時間帯で必ず行うこと。
- (2) 24日(日)は受付を行わない。
- (3) 前年度優勝大学は優勝旗を、前年度射道優秀大学はカップを23日(土)の受付時に持参すること。

5. 選手の変更及び交代について

- (1) 参加申込み時に登録を行った選手の中で、大会1日目競技開始前の「変更」・競技開始後の「交代」をそれぞれ1回認める。参加申込み時に登録を行った選手以外との変更・交代は認めない。
- (2) 予選出場選手の変更は、大会1日目10:30から12:30まで、中央道場1階にて受付ける。時間を過ぎての申請は一切受け付けない。
- (3) 決勝トーナメント出場選手の交代は、大会2日目8:00から8:30まで、中央道場1階にて受付ける。時間を過ぎての申請は一切受け付けない。
- (4) 決勝トーナメント進出の為の同中競射前(競射中)及び決勝トーナメント中は選手の交代はできない。

参加申込時		出場選手
1	A選手	
2	B選手	
3	C選手	
4	D選手	補欠選手



6. 監督の代行について

- (1) 監督に不測の事故等が生じ、参加申込み時に登録を行った監督以外の者が監督となる場合は、監督代行届を中央道場1階に提出すること。監督代行届は、新監督が届け出るものとする。

7. 予選立順（立組）の告知について

参加申込締切り後、競技委員長立会いのもと、抽選器具を使用し抽選により決定する。抽選結果については、全日本弓道連盟ホームページに掲載する。予選会場及び射場は下表のとおりとする。

	立	中央道場			至誠館		
		第1射場	第2射場	第3射場	第1射場	第2射場	第3射場
女子	1	1	2	3	22	23	24
	2	4	5	6	25	26	27
	3	7	8	9	28	29	30
	4	10	11	12	31	32	33
	5	13	14	15	34	35	36
	6	16	17	18	37	38	39
	7	19	20	21	40	41	42

	立	中央道場		至誠館	
		第1射場	第2射場	第1射場	第2射場
男子	1	1	2	21	22
	2	3	4	23	24
	3	5	6	25	26
	4	7	8	27	28
	5	9	10	29	30
	6	11	12	31	32
	7	13	14	33	34
	8	15	16	35	36
	9	17	18	37	38
	10	19	20	39	40
	11	—	—	41	42

8. 式典について

(1) 開会式 中央道場射場にて行う。

選手の服装は弓道衣とする。

男子の部は、各大学代表選手4名。女子の部は、各大学代表選手3名が開始5分前までに中央道場射場に整列すること（入場行進は行わない）。

開会式開始前に修祓（しゅばつ：神職が行う清めの儀礼）を行う。塚を清めた後、選手、監督及び役員の方を清めを行うので、その際は低頭（頭を低く下げて礼を行う）になり受けること。

前年度優勝大学の代表選手は優勝旗を、前年度射道優秀大学の代表選手は射道優秀カップを返還すること。返還は登録選手が行い、返還者の服装は弓道衣とする。

(2) 閉会式 中央道場射場にて行う。

選手の服装は弓道衣とする。

入賞した大学の選手及び監督は競技終了後、射場控に集合し、競技役員の方の誘導に従うこと。

9. 競技について

9-1. 競技運行について

- (1) 行射方法は、全日本弓道連盟弓道競技規則【平成28年4月1日改定】に記載の「競技の要領(坐射)」で行うこと。
- (2) 一手を持って行射する時は、取矢を行うこと。
- (3) 次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。矢^{やっが}番え完了（矢を番えた後、右手を腰にとった時点）後に、筈が弦から外れた場合、打起し開始後に、射直した場合。
- (4) 矢が幕に刺さった場合や、掃き矢等で矢が横になった場合、他の射場（大学）に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
- (5) 原則としての的中判定の異議申し立ては認めない。審判委員の判定に従うこと。
- (6) 弦切れの場合は、進行委員が替弦を張る。
- (7) 予選は、両会場とも男子の部は2射場、女子の部は3射場に分割して使用する。決勝トーナメントは、男女とも2射場に分割して使用する。
- (8) 予選時、選手は競技役員の指示に従い射場に入場する。入場後は本座で跪坐をして待つ。（イスの設置はない）競技役員の「始め」の合図で揖をした後、立って（3歩で）射位に進む。行射後は順次退場すること。
- (9) 決勝トーナメント時、選手は競技役員の指示に従い射場に入場する。入場後は本座で跪坐をして待つ。（イスの設置はない）競技役員の「始め」の合図で揖をした後、立って（3歩で）射位に進む。行射後は本座に戻り跪坐をして待つ。競技役員の勝敗宣言後、「退場。」の合図に従い退場すること。
- (10) 監督（又は補欠選手）の入場要領は、予選・決勝トーナメント共に、自身の大学の選手に続き入場し、選手の跪坐と同時にイスに腰かけること。
- (11) 射場に入場する監督は、特別な事情がない限り登録監督が入場すること。監督の入場が困難な場合は、補欠選手でも可とする。

9-2. 制限時間について

- (1) 予選・決勝トーナメント共に、男子の部は10分以内。女子の部は7分30秒以内とする。
- (2) 制限時間の計時は、競技役員の「始め」の合図により開始する。
- (3) 制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。
本鈴と同時に射離した矢は無効とする。制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。
- (4) 射場審判委員から行射停止指示が出た場合は、制限時間の規定を適用しない。
- (5) 自身の大学内に起因する事故（弦切れ処理等）の場合は、制限時間内で行う。
- (6) 同中競射については、制限時間を設けないが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。

9-3. 弓具・服装について

大会当日、第3控にて弓具・服装点検を実施するので、事前に点検し、必要に応じ修理を行っておくこと。
違反した場合は失権と判定する。但し、修正されればこの限りではない。
また、第3控以降は、音楽プレーヤー等の持込を禁止する。

- (1) 弓道競技規則 第20条・第21条 抜粋
 - ①弓
 - ・矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。
 - ・照準のための装置や、矢摺籐に作為的な目印がない。
 - ・籐の節は目印と看做さない。ただし作為的に籐の節目が目印となるような巻き方をしてはならない。
 - ②矢
 - ・篋の太さは、直径6mm以上とする。
 - ・羽丈（羽根の長さ）は、13cm～15cmとする。
 - ・羽山（羽根の高さ）は、5mm以上とする。
 - ・引込位置などを示す目印や類似のことがない。

- ③補助具など ・伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他の物を付けてはならない。
 - ④服装 ・弓道衣下の下着は、原則として無地とし、襟付き・ハイネックは好ましくない。
・袴の裾は、足踏みの姿勢で床面に着かないことが望ましい。
- (2) 弾止めは危険防止のため使用を禁止する。
 - (3) 大学名プレートを付ける大学は、右腰の袴紐下にプレートの上部がくるように付けること。
選手章は、原則として大学名プレートの下に付けること。
白足袋は穴の開いていない清潔なものを着用すること。
弓道衣の袖を捲り上げている（折り曲げている）選手は元に戻すこと。
 - (4) 替矢を2本以上持参すること。決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用する。

10. 会場使用について

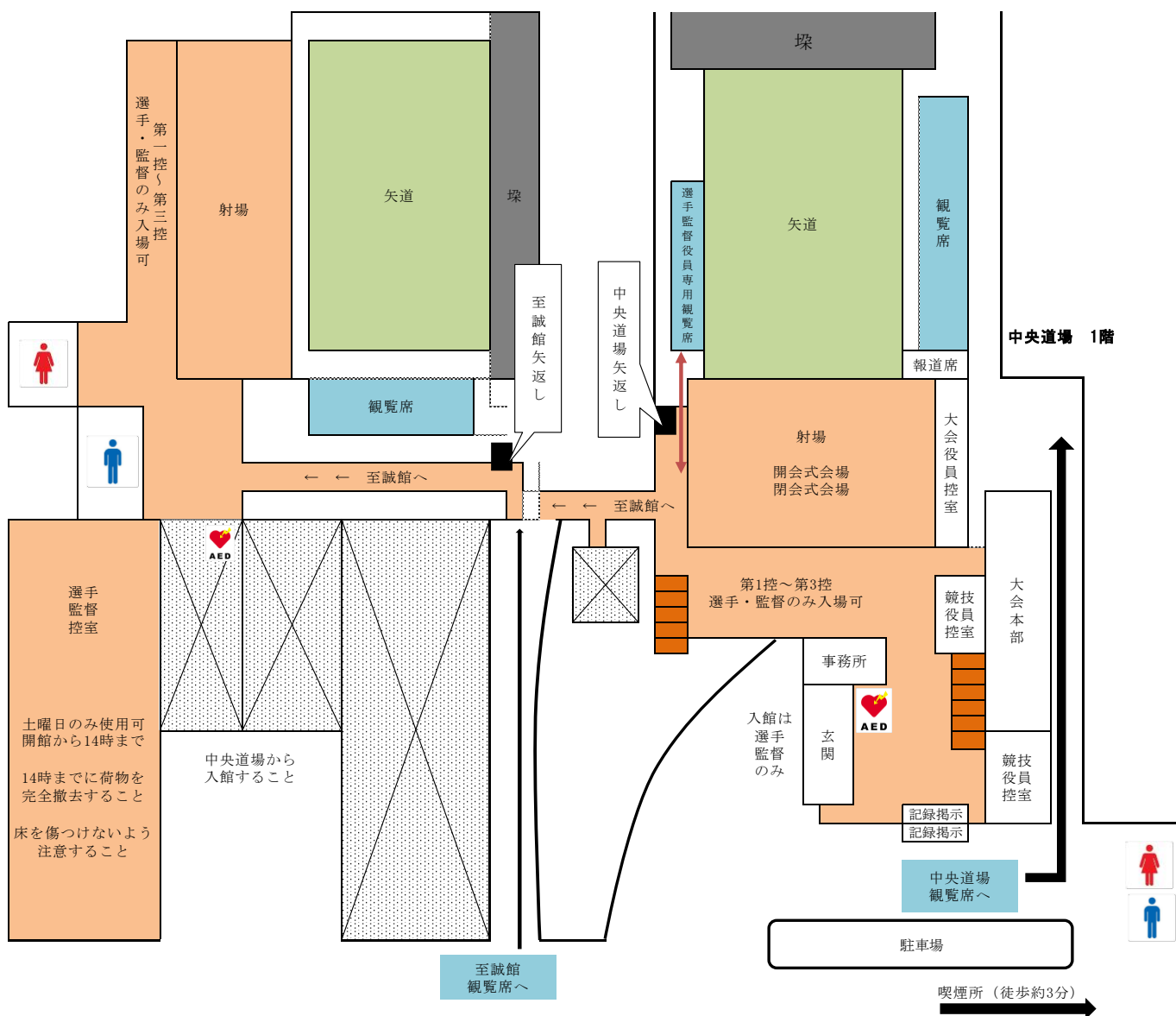
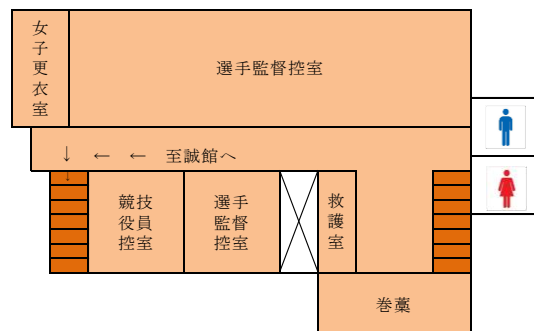
- (1) 本大会では、選手・監督の他に各チーム1名の帯同者の入館を認める（帯同者の事前登録は必要ない）。
選手・監督・帯同者1名には、本大会専用のIDカードを受付にて配布する。館内では常時首から下げ着用し、入退館に際しては、必ずIDカードを提示し、競技役員の指示に従うこと。貸し借りは厳禁とする。
- (2) 控室及び観覧席での場所取りは禁止する。観覧席は譲り合って使用すること。
特に、観覧席については応援者へ周知徹底を図ること。
- (3) 明治神宮苑内（会場・会場周辺の芝地等）での発声（円になっての集合・大きな声を出しての挨拶・返事・気合いを入れる等）は絶対に行わないこと。
- (4) 館内は裸足厳禁。必ず白足袋または靴下を着用すること。ストッキングは裸足とみなす。
- (5) 大会期間中は、中央道場2階に巻藁を5台用意する。各自譲り合って利用すること。
但し、23日（土）は、12時30分から矢渡終了まで使用することはできない。
- (6) 射場内でのぎり粉、筆粉の使用を禁止する。足袋にぎり粉をつける、足袋を水で濡らすことを禁止する。
- (7) 本大会は会場内に部旗を掲揚する（張る）ことを禁止する。
- (8) 弓具及び貴重品等は各自、又は各大学で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。
- (9) 昼食弁当等を注文する大学は、明治神宮の敷地外（門の外）で受け取ること。
- (10) ゴミは各大学でまとめ必ず持ち帰ること。
- (11) 中央道場及び、至誠館周辺は禁煙。

11. その他

- (1) 本必携に変更があった場合は、本連盟ホームページに掲載する。
- (2) 観覧席からの応援は皆中時の拍手のみとし、射場内（監督席含）及び観覧席等からの応援（矢声等）は、一切禁止する。応援者等を含め各大学で周知徹底をすること。
- (3) フラッシュ・ストロボ・ライトを点けての撮影は一切禁止する。
- (4) 実行委員会です許可をした写真業者等が競技等の撮影を行う。
個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないように、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等を中止すること。

至誠館弓道場・中央道場 会場図

中央道場 2階



取矢・坐射他免除申請書

※申請書を提出することで、承認されたわけではありません。
申請書を元に審議し、可否を決定いたします。

競技委員長 様

下記のとおり、申請しますので、ご許可くださいますようお願いいたします。

種別	男子の部 ・ 女子の部	予選立順	番
大学名			
監督名			
選手名 (参加申込時の立順)	(番)		
申請事項	取矢 ・ 坐射 ・ その他 ()		
申請理由			

記入上の注意：種別及び申請事項には、該当欄に○印をつける。

担当	受付日 (受付時間)	総務委員長	競技委員長	判断 (可否)
確認者印 又は 署名	(:)			

提出先：中央道場1階受付

注意事項：監督代行届は、新監督が届け出るものとする。

監督代行届

競技委員長 様

次のとおり監督を代行（変更）します。

（ 男子 ・ 女子 ） の部

予選立順（ ） 番

大 学 名 _____

旧監督名 _____

新監督名 _____

理 由 _____

担当	受付 (受付時間)	総務委員長 (本部記録委員)	場外委員長 (招集委員)
確認者印 又は 署名	(:)		